

「社会を明るくする運動」

下五島地区中学・高校生弁論大会

7月16日(土)に福江総合福祉保健センターで弁論大会が開催されました。新型コロナウイルス感染症の感染防止のため入場制限があり、本人、保護者、引率者、校長の4名での参加となりました。8校の中学校から1名ずつの代表者が発表しました。

本校からは2年生の小田蒼海さんが「見えないからこそ」というタイトルで発表し、優秀賞を獲得しました。どの作品も、素晴らしい内容でどんどん引き込まれていました。

蒼海さんの「見えないからこそ」は思いやりを失うことは、見えない罪を作ることにつながる、見えないからこそ人を傷つける言動をなくしていかなければならない、という強い信念が、聞く人に伝わりました。

最優秀賞は他校の3年生が手にしましたが、堂々とした発表は、最優秀賞にも負けないくらい素晴らしかったです。

この弁論大会では、中学生や高校生のこれまでの体験や、考えたこと、影響を受けたことなど、さまざまなテーマから発表されます。弁論大会は「明るい社会を築くための発信の場」として続けられ、今年で72回を迎えています。



※「社会を明るくする運動」とは…全ての国民が犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人の改善更生について理解を深め、犯罪や非行のない明るい地域社会を築くための全国的な運動のことです。(「法務省からのお知らせです」のチラシから)

毎年、7月は「社会を明るくする運動」の強調月間及び再犯防止啓発月間です。